

2020 年 7 月 27 日

報道関係各位

株式会社東京ドーム
(コード番号：9681 東証第 1 部)

地域交通との協力強化による駅密集回避の取り組みについてのお知らせ

株式会社東京ドーム（本社：東京都文京区 代表取締役社長：長岡 勤 以下当社）は、東京ドームシティご利用者の来場・帰宅時の密集を回避するための取り組みを強化していきます。

当社が運営する東京ドームシティは、徒歩 5 分圏内に 5 路線 6 駅（※1）がある立地です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密集を避けるためには、周辺 6 駅だけでなく、徒歩 10～15 分程度圏内にある 10 路線 16 駅およびその他交通手段でアクセスできる 2 駅（※2）への誘導を強化する必要があります。

今回、東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、東京都交通局の 3 事業者にご協力いただくとともに、その他の交通手段の利用促進により、最寄り駅を 6 駅から 24 駅と利用駅を 4 倍にすることで、密集を回避し、鉄道交通を利用される方の安全性をさらに高めたいと考えます。

今後は、東京大学教授で群集マネジメントを研究されている西成 活裕（東京大学 先端科学技術研究センター教授）教授をアドバイザーに迎え、最寄り駅の拡大の他、移動自体もお楽しみ頂ける様な施策など、様々な視点で密集回避対策を講じ、イベントにご来場のお客様の更なる快適性向上を目指します。

■実施内容

ホームページ掲出、SNS 発信、映像放映、駅構内でのポスター掲出、一部駅・車内での放送 等

開始日：2020 年 7 月 28 日（火）～



ー報道関係の方からのお問い合わせ先ー

(株)東京ドーム 広報 IR 室

〒112-8575 東京都文京区後楽 1-3-61 TEL.03-3817-6029 / FAX.03-3817-6022

dome-koho@gms.tokyo-dome.co.jp / <https://www.tokyo-dome.jp/>

当社の今後の活動として、アフターコロナを見据えイベント時の動員が増加した際の対応準備として、シェアサイクル（株式会社ドコモ・バイクシェア）活用促進などの移動手段の拡充や、混雑情報共有強化、その他更なる最寄り駅の密集回避対策等の検討を実施して参ります。ご来場のお客様、従業員およびお取引先、協力会社の皆様の安全を最優先に考え、感染拡大の抑止に努めてまいります。

※1 水道橋駅（JR、都営地下鉄三田線）

後樂園駅（東京メトロ丸ノ内線・南北線）

春日駅（都営地下鉄三田線・大江戸線）

※2 飯田橋駅（JR、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、都営地下鉄大江戸線）

御茶ノ水駅（JR、東京メトロ丸ノ内線）

新御茶ノ水駅（東京メトロ千代田線）

神保町駅（東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線・新宿線）

九段下駅（東京メトロ半蔵門線・東西線、都営地下鉄新宿線）

本郷三丁目駅（東京メトロ丸ノ内線、都営地下鉄大江戸線）

+秋葉原駅・東京駅

—報道関係の方からのお問い合わせ先—

（株）東京ドーム 広報 IR 室

〒112-8575 東京都文京区後楽 1-3-61 TEL.03-3817-6029 / FAX.03-3817-6022

dome-koho@gms.tokyo-dome.co.jp / <https://www.tokyo-dome.jp/>